

大桑 第35号 無所属 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

私たち市民が政治に参加する流れを作ります！
栄区から、しがらみのない政治を実現します！

市議員3年目
よろしくお願ひします！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、大桑**まさたか**の政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくります(しがらみをなくす)。

サミット誘致について

横浜市は2008年に日本で開催されるサミットを誘致することを決めました。本当に横浜市でサミットが開催されるかまだ分かりませんが、しかし、私はテロの危険もあるこの時期のサミット誘致には反対をします(先日もインドネシアでテロがあり日本人も被害に遭いました)。中田市長はこのサミット誘致について「サミットに限らず横浜市が国際都市である以上、テロに対しての覚悟は必要だ」と言っておりますが、私はサミットが横浜市で開催されればテロの危険性は格段に高まると思います(被害に遭うのは我々一般市民です)。皆さんはどのようにお考えになりますか？

副委員長就任

9月30日に終了した第3回定例会(本会議)において、私こと大桑正貴が市民教育委員会の副委員長に就任することが決まりました。頑張ります！！

大桑新聞

第35号(10月号)

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL&FAX : 045-892-5187

携帯電話 : 070-6511-1295

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~m-okuwa/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

1973年7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職

2003年4月 横浜市議員 初当選

若者政治家養成塾在籍(第1期生)

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子、ママ、グリ

(ママとグリはそれぞれの実家にいます)

ボランティア大募集！ TEL&FAX:045-892-5187

大桑と一緒に、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布しております。

8月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成17年度8月現在の政務調査費**累計残高**は **-9,034円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	550円	新聞代	9,050円
大桑新聞印刷代等	270,123円	文具費等	31,310円
勉強会代等	0円	書籍代	0円
通信費	31,373円	事務所費等	97,748円
交通費	179,460円	道路使用料(8月分)	4,000円

8月の**支出合計**は

623,614円です。

近況報告

9月30日(金)に第3回定例会が終了しましたが、これに引き続き10月4日(火)から平成16年度の決算特別委員会が開催されます。

10月26日(水)の最終日まで土・日・祝日を除いてほぼ毎日開催されます。

今回の決算委員会からインターネット中継も開始されますが、お時間のある方は、是非、関内にある市役所まで足を運んで下さい。よろしくお願いいたします。

250億円の不足

平成18年度の横浜市の予算編成方針が発表されました。

タイトルの**250億円**は平成18年度予算編成の中で分かった**収支不足額**です。

平成17年度の**450億円**という収支不足と比べれば少ないと言えます。

しかし平成18年度は、事業を大幅に見直すなどして450億円を削減した平成17年度の予算をまた更に250億円削減しないといけないこととなります。

正直、今の横浜市が250億円を削減するのは厳しいと思います(収入が増える以上に福祉費などの支出が増えているからです)。

支出を収入に合わせるために今年度も横浜市は廃止・休止・削減を含めた事業の見直さなければいけません。是非、ご理解頂ければと思います。

ちなみに横浜市の予算規模は約2兆4千億円なのに対して市債残高は約5兆円です。横浜市はこれ以上市債(借金)を増やさないために市債の発行抑制(対前年度8%減)を続けています。子や孫の世代にこれ以上借金を残さないために!!!

1,100億円削減

平成17年度4月から横浜市ではG30(ゴミ30%削減)が全市展開されています。ここではその成果についてお知らせします。

まずは上記の**1,100億円**です。これは、栄焼却場に続き、平成18年1月に港南焼却場を休止することにより得られる金額です。

正確に言うと、この**1,100億円**は栄・港南工場を建て替えるためにかかる費用です(G30が順調に進みゴミの量が減少しているため2工場を休止することとしました)。

2工場を休止することにより必然的に、2工場の運営経費**30億円/年**も削減することが出来ます(現在、ゴミの量は平成13年度と比べ32.4%減少しています)。

次に、二酸化炭素の排出量が平成13年度と比べ、平成17年度は**63万トン**以上の二酸化炭素を削減出来るそうです(G30は平成13年度を基準にしています)。

この**63万トン**とは、横浜市全域(約440km²)に杉の木を植えた時に得られる二酸化炭素吸収量に匹敵します(杉の木4,500万本分になります)。

最後になりましたが、この結果は皆様のご協力があった結果です。今後も、是非、ご協力頂ければと思っております。よろしくお願いいたします。